

## 愛知県の高校での普通教科「情報」の実態調査 —アンケート調査に基づく—考察—

### The Actual Investigations about General Subject "Information" at High School in Aichi Prefecture -Studies based on Questionnaires -

山崎 初夫<sup>\*1</sup>, 村上 広一<sup>\*2</sup>, 寺田 幸正<sup>\*2</sup>  
Hatsuo YAMASAKI<sup>1</sup>, Hirokazu MURAKAMI<sup>2</sup>, Yukimasa TERADA<sup>2</sup>

<sup>\*1</sup>名城大学理工学部

<sup>1</sup>Faculty of Science and Technology, Meijo University

<sup>\*2</sup>名城大学情報センター

<sup>2</sup>Information Technology Center, Meijo University

Email: yamasaki@meijo-u.ac.jp

**あらまし**：本研究では、大学初年次の情報リテラシー教育で実施すべき内容を検討し、新しいモデルカリキュラムの構築を検討している。そのために、高校、大学、企業等で実施されている情報教育に関する項目を決め、そのアンケート調査とその調査内容の解析を行い、モデルカリキュラムの考案と構築をする予定である。本報告では、愛知県の高校の普通教科「情報」のアンケート調査を実施したので、その内容と解析結果の一部を報告する。

**キーワード**：普通教科「情報」、実態調査、高等学校教育、情報リテラシー、モデルカリキュラム

#### 1. はじめに

本研究の目的は、今後の大学初年次の情報リテラシー教育で実施すべき内容を検討し、新しいモデルカリキュラムの構築を行うことである。そこで、①高校、大学、企業などで実施されている情報教育に関するアンケート調査を行う、②大学入学時から卒業時までに必要な情報活用能力育成のための教育内容の分析を行う、③それらを解析することにより新しいモデルカリキュラムを考案・構築することである。これまでも大学入学時に基礎的な情報リテラシー能力（情報対応能力）に対する調査報告<sup>(1)(2)</sup>などがある。高校の情報教育に関するアンケート調査は種々行われており、その成果も発表されている<sup>(3)(4)</sup>。しかし、愛知県の高校に対して教科「情報」のアンケート調査を行った内容はあまり見られない。本報告では、筆者らが愛知県の国立・公立・私立の高校約 220 校を対象に、高校で実施されている普通教科「情報」に関するアンケート調査を行ったので、その一部を報告する。

#### 2. 普通教科「情報」の現状と調査の必要性

2003 年度に高等学校学習指導要領が改訂・施行され、2006 年から高校において「情報」を履修した学生が入学してきた。本研究の視点は、学士力の一つである情報リテラシー、あるいは専門課程教育において必要とされるコンピュータ操作を大学入学以前の段階で入学生がどの程度高校で教育されているかにある。大学の新しい情報教育を検討し構築する

ためには、現在高校や大学で実施されている情報教育や情報リテラシー教育のアンケート調査が必要である。また、2013 年度から学習指導要領が再改訂・施行されることが決まっている。

筆者らは、高校における情報教育の現状を確認するために、愛知県の高校に対してアンケート調査を実施した。また、本学の新入生の情報リテラシー能力習得状況を把握するために入学後にアンケート調査も行った。

#### 3. アンケート調査内容

アンケート調査について以下に示す。

##### 3.1 調査目的

今後の大学初年次の情報リテラシー教育で実施すべき内容を検討し、新しいモデルカリキュラムの構築を行うことを目的とした。

##### 3.2 調査対象と回収方法

調査対象となる愛知県の高校約 220 校に対してアンケート調査票を送り、期限を設けて回答してもらった。回答方法は、調査票に記入して郵送する方法と Web 上で直接記入する方法の 2 つとした。

##### 3.3 調査項目

選別したアンケート項目は、学校に対する基本事項（回答者基本情報）、普通教科「情報」の科目の全体概要（学習計画）、授業の学習内容（シラバス等）、その他、の 4 項目である。

##### (1) 回答者基本情報

学校名、情報担当教員数・出身学部、指導歴など

である。

## (2) 普通教科「情報」の授業概要

開講年次、情報科目の種類、採用教科書、教室環境、高校入学時の情報スキルと基礎知識の評価などである。

## (3) 授業の学習内容

各コンピュータを利用した操作教育、パソコンを利用しない知識学習(座学)、授業で重要と考える項目、新学習指導要領の検討などである。

## (4) その他

授業に関する情報収集や配慮、大学入試の対応などである。

## 4. アンケート結果

アンケート調査に回答した普通科の高校は 85 校となった。このアンケート結果を以下に示す。

### 4.1 回答者基本情報

履修学年を図1に示す。1年次が一番多く46.4%、2年次が19%となっている。普通教科「情報」ABCの使用結果を図2に示す。情報Aが62%、情報Bが24%となっている。

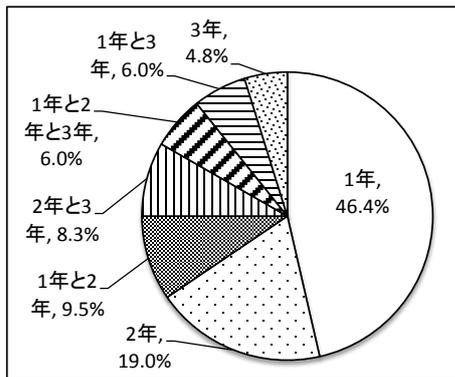


図1 普通教科「情報」の履修学年

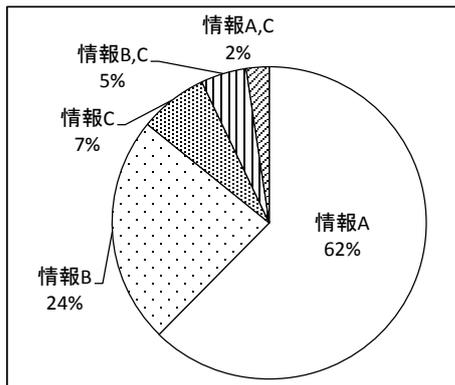


図2 実施されている普通教科「情報」の種類

### 4.2 普通教科「情報」の授業概要

高校入学時の情報スキルや基礎知識の評価(コンピュータの基礎知識・基本操作、文字入力およびワープロ・プレゼンテーション・表計算の基本操作)は約20%の高校しか実施していなかった。高校でのアプリケーションソフトウェアの基本操作を実施している高校は図3に示す。知識学習(座学)を実施

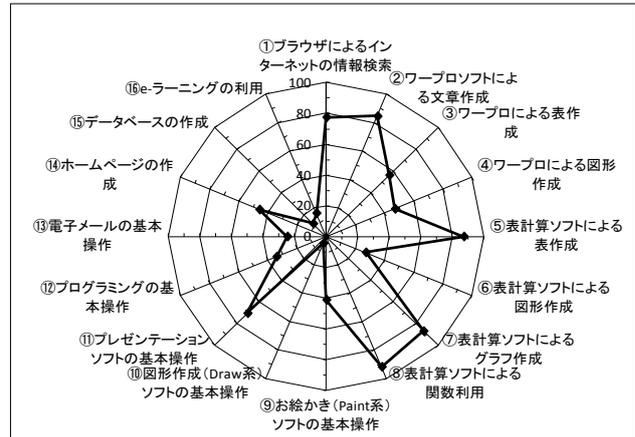


図3 アプリケーションソフトの実施状況

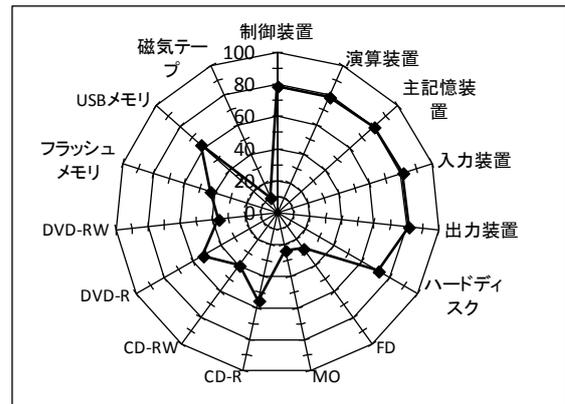


図4 知識学習(座学)の実施状況

している項目を図4に示す。パソコンの五大装置については80%の高校が実施、記憶メディアについては約40%の高校が実施している。

## 5. まとめ

高校の普通教科「情報」の授業は、1年次の履修や情報Aが多いが、高校入学時の情報スキルや基礎知識の評価をしている高校は少ない。インターネット検索・ワープロ・表計算・プレゼンテーションは約80%の高校で実施している。

### 謝辞

本研究は科学研究費助成事業(課題番号23501184)の支援を受けて行われた。記して感謝の意を表す。

### 参考文献

- (1) 東京大学情報基盤センター情報メディア教育部門: "高等学校普通教科「情報」の履修等状況調査", <http://www.edu.c.u-tokyo.ac.jp/edu/information.html> (2012年5月)
- (2) 篠政行: "平成22年度入学生における普通教科「情報」の履修に関するアンケート調査", 駒沢女子大学研究紀要、第17号、pp.111-123 (2010)
- (3) 財団法人コンピュータ教育開発センター, "「情報大航海時代」における制度的課題に関する高等学校等における情報教育の実態調査実施報告書"(2009年3月)
- (4) 愛知県総合教育センター, "情報教育推進のための調査研究", <http://www.apec.aichi-c.ed.jp/> (2009年10月)